

大切に見守られた食べ物

出雲市立西野小学校 五年 嘉藤 光里

今年は、田に目が行く年でした。きっかけは、田植え直後に、田にあらわれた緑色の物を見たからです。すぐ消えると思っていたのに、消えなくて、田の横を通る時にそれがいつも気になっていました。しかも、よく見るとそれは、うちの田だけではなく、他の田でもありました。

その正体は、祖父に聞いてわかりました。

「藻」なのだそうです。田植え後、良い天気が続いて水温が高くなったので、アオミドロという緑色の藻が発生したようです。すごくあっさり答えられたので、私が知らないだけで毎年あったのかと思いました。でも祖父も祖母もとてもめずらしいと言っていました。今年の暑い日は田にも影響があることを知りました。

私が一番目にする田で、たくさん藻が発生していたところは、苗が結局育ちませんでし

た。藻が日光をさえぎってしまつて、光合成  
ができず、植えられた苗がうまく成長できな  
かつたようです。しばらくして、雨が降って  
いつの間にか藻は消えていました。でも藻が  
消えても、その後、苗が育つことはありませ  
ん。どんだん周りの苗が成長していても、  
結局苗の育たなかつた所はそのまま、空間  
があつて不思議です。藻が発生したのが、あ  
の田植え直後でなかつたら：：きつとあの空  
にいてる所にもイネが成長していたらうと

思うと、何だかやしくなりました。

私の通つていた保育園では、田でアイガモ  
をかつていました。小さいアイガモが、どん  
どん大きくなつていく様子をよく見に行つて  
いました。アイガモが大きくなるとともに、  
イネも成長して、アイガモが見えにくくなつ  
ていくので、アイガモとイネの両方の成長を  
見ていました。でも、イネを見るというより  
は、やっぱり動く動物のアイガモを見に行つ  
ていたと思います。そしてイネは勝手に成長

すると思っっていた気がします。田植え、イネ  
かり体験をした保育園の田も、地いきの人が  
色々お世話をしてくれていると聞いていたけ  
れど、実際何が行われていたか、あまりわか  
っていませんでした。

私の祖父は、朝や夕によく田を見に行っ  
ています。「そんなに朝夕見ても、植物だし、  
変わらないのではないか」と、ひんぱん  
に見に行く祖父がとても不思議でした。でも  
今年、私が田に自然と目が行ってしまおうよ

うに、祖父も天気や水位など何かと気になる  
のではないかと思うようになりました。もし  
かしたら、変化を見に行くのではなく、悪い  
方に変化していないことを確認して安心する  
ためなのではないかと思えます。

イネだけでなく、畑の野菜も、作る人がて  
いぬいに世話して、無事に成長するように見  
守られていると思うようになりました。これ  
からは食材を選ぶ時や食べる時に、作られる  
過程を考慮するようにしたいと思えます。